
2021/04/05

第42回全日本リコーダーコンテスト 出場
報告

| by 教職員O
6

令和2年度の吹奏楽部の活動について報告です。

本校の生徒は3名となったので、令和元年度に引き続き合同合奏で臨むこととしました。阿寒高校4名と合同で準備しておりましたが、さらに中標津高校の1名を加え、全8名でリコーダーアンサンブルに取り組んでまいりました。

地区は重奏の部、合奏の部共に金賞と全道推薦をいただきました。録画審査となった全道大会では重奏の部で銀賞となってしまいましたが、合奏の部では合同参加では初の金賞と全国推薦をいただきました。

第42回全日本リコーダーコンテストは、録音審査となりました。3月13日土曜日に阿寒高校に集合し、最後の合同練習と録音を行いました。



練習の様子

結果は、銀賞でした。

全日本リコーダー教育研究会サイト

<http://zenrikoken.com/wp/wp-content/uploads/2021/03/42b.pdf>

金賞までは及びませんでした。そもそも地区大会の開催すら危ぶまれた中、全国まで出場できたことはこの上ない喜びでした。これからの時代、様々なことがまだまだ

不確定ですが、一生懸命努力する生徒の姿を皆さんに見ていただけるよう、これからも感謝の心を忘れずに頑張っていきます。

令和3年度の吹奏楽部の活動にもご期待ください！

2021/04/08 防災研修 その2

| by 教職員11

3月28日(日)釜石～陸前高田～気仙沼～石巻

この日は岩手県釜石市から宮城県名取市に向けて出発です。途中、震災遺構で研修です。ジャンボタクシーで釜石を出発。タクシーは、今年仙台から宮古まで繋がった三陸自動車道を南下、途中釜石タクシーの運転手さんから当時のお話がありました。釜石で被災した運転手さんは、真っ黒な津波にのまれながら生還したそうです。途中老夫婦を救助、無我夢中で救助したそうです。自分も津波にのまれながら一命を取り留めた運転手さんの話、淡々とお話ししてくれましたが、とても身につまされる話でした。

まずは、陸前高田。ここでは、広大な土地と10mかさ上げされた土地を実感。住宅等を建てることを禁止された地域には、まだ当時の名残を残す建物がありました。



10m かさ上げた高台から下を望むと人がとても小さく感じました。

陸前高田の次は、気仙沼です。被災した気仙沼向洋高校を震災遺構にした伝承館へ。同じ高校ということもあり、当時の生々しい爪痕の残る学校に津波の恐ろしさを改めて実感しました。ここでは、被災地の語り部菊田さんの案内で伝承施設を見学。菊田さんも被災され、当時の辛い思い、津波が来たときの自宅の様子など話をしてくれました。見学の最後は、震災当時、避難所で行われた階上中学校の卒業式の様子の映像でした。内容は、ここでは述べませんが、とても胸にぐっとくる答辞でした。



気仙沼向洋高校の屋上にて菊田さんのお話を聞きました。



陸前高田から次は、大川小学校へ。ここはとても有名な場所であるため、詳しい説明は省きます。語り部の鈴木さんの話を伺いました。当時小学生だった娘さんを津波で亡くされました。娘の安否を思いながら、泥の中から娘さんを掘り出し・・・とても聞いていて辛くなる内容・・・。防災教育の在り方を改めて考えさせられました。命を守るという当たり前のこと、どうすべきだったのか真剣に考えました。



語り部 鈴木さんのお話を伺いました。



大川小学校で献花をしました。

ということで、震災遺構を巡り、当時のさまざまな背景を思い描き、防災減災教育の大切さを実感する一日になりました。

2021/04/09

朝のあいさつ運動実施中です

| by admin

今年も町内の春のあいさつ運動に合わせて、標津高校生徒会もあいさつ運動に参加しました。



寒い中ではありましたが、多くの生徒があいさつ運動に協力してくれたおかげで元気なあいさつが飛び交う朝となりました。



あいさつ運動は、4月13日(火)までおこないます。

2021/04/09

対面式

| by admin

4月9日(金)5,6時間目 新入生を歓迎する対面式が行われました。

コロナに対する対策を講じた結果、いつもよりも会場を広く、生徒席の間隔をあけて、密を防ぎ、途中換気のための時間を設け実施しました。



緊張した面持ちの新入生を在校生が温かく迎え、校長先生からお話、生徒会長からの歓迎の言葉、そして2, 3年生の代表から楽しい学年紹介が行われました。

また、後半は、部活動紹介。バスケ部の寸劇や自然科学部の実験、吹奏楽部のリコーダ演奏など目白押しでした。





部活動紹介(新入生獲得のため頑張りました)



先生紹介は、総務部生徒が盛り上げました

新入生の皆さん、勉強をがんばり、部活動にたくさん入部してくださいね。

2021/04/19 交通安全講話を実施しました

| by [admin](#)

4月19日(月)、中標津警察署 品田様、桑田様をお招きして交通安全講話を実施しました。これから自転車通学が始まることもあり、自転車の乗り方やマナーについてのお話がありました。また、高校生が交通事故の加害者になりうる事例を紹介していただきました。

最後に、生徒会長の渡邊さんが「今後改めて交通マナーに気をつけて生活をしていきたい」とあいさつをしました。



2021/04/29 カラフトマス稚魚放流

| by 教職員11

4月26日(月)カラフトマス稚魚放流を行いました。

昨年度3年生の実習で受精させ、11月に発眼卵で本校にやってきたカラフトマス。その後自然環境系の生徒が育てたカラフトマスたちは、100粒の発眼卵から76匹を稚魚にすることに成功しました。



放流前に稚魚の観察。サケ稚魚と異なりカラフトマスの稚魚は銀ぴかです。



サーモン科学館裏の小川にそっと放流しました。



熱心にメモをとりました

放流後は、サーモン科学館の西尾副館長さんからのレクチャーです。サケ科魚類に関する生活史やその特徴をじっくりと教えてくださいました。サケ稚魚と違ってカラフトマスの稚魚が銀色の理由もわかりました。カラフトマスは、道東地域にとって重要な水産生物。これからも資源を守りいつまでも元気に遡上してきてもらいですね。



2年後大きくなって無事に帰ってきてください。
この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発の一環として行われています。

2021/04/29 防災釜石研修 町役場報告会

| by 教職員11

4月28日(水)先月行われた釜石研修の報告会を町役場にて行いました。

30名を超える金澤町長はじめ町役場職員の方が集まってくれました。緊張する中、一生懸命作ってきたパワポで説明を行いました。



緊張しながらもしっかり発表ができました。

研修の行程、それぞれの場所で見て聞いて体験し、感じたことを発表。これからの町の防災にむけて、標高生が何ができるのか、町と一緒に何をしていきたいのか、プレゼンをすることができました。



研修に行ったメンバー それぞれ今後の抱負も語ることができました。

今年も園小中学校などへ出前授業を行い、さまざまな防災活動に取り組んでいきたいと思います。また、オリジナルHUGも実践していきます。

研修報告の場を設けて頂いた標津町役場の皆様に改めて感謝です。ありがとうございます。

2021/05/07 高体連支部壮行会を行いました

| by admin

5月8日(金)に高体連支部壮行会が行われました。

各部活動からの決意表明、そして生徒や校長先生からエールが送られました。



選手の入場



各部活動からの決意表明



各クラスからの応援

標津高校全校で応援しています！頑張ってください！

2021/05/12 生徒総会を実施しました

| by admin

5月12日(水)、令和3年度の生徒総会が開催されました。



今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から集会という形ではなく放送での実施となりました。



生徒会総務部、委員長、局長、会計監査、議長団・・・全校生徒への説明も緊張しながらも無事終了。クラスからも積極的に質疑が出て、活発な総会となりました。

2021/05/25 生物実験 原形質分離を観察する

| by 教職員11

5月18日(火)本来であれば海洋実習の藻場学習が行われる予定でした。しかし、コロナが……。ということで藻場学習は中止です。

楽しみにしていた時間でもあったので、この日は、急遽実験を行うことにしました。教科書にもある「原形質分離」の実験です。選択生物の生徒は2名。ソーシャルディスタンスを保ち2名で実験スタート。今回の実験は、ショ糖の濃度の違いによる原形質分離の様子の違いを顕微鏡で確認して、その割合を求めるという実験でした。



試薬の調整、顕微鏡の準備、実験メモなどすべて生徒が整え、実験スタート。



結果は、きれいに出了ました(写真参考)。5%濃度から2.5%刻みに実験区を作り、観察すると、10%あたりから原形質分離が起こり始め、20%では、きれいに観察できるほどまで分離します。

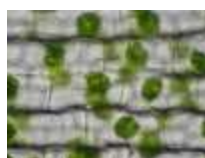


5%

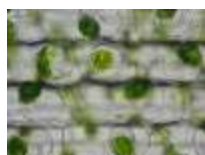




10%



15%



20%（途中、7.5、12.5、17.5%は除く）

この実験結果を次回の授業でまとめ、考察していきます。

2021/06/03

スタディサプリ オンライン説明会実施！

| by 教職員06

5月28日(金)株式会社リクルートの上江田様にご協力いただき、スタディサプリについての説明会を実施いたしました。

昨年度までは、希望者のみ半額補助で利用していたスタディサプリでしたが、今年度よりさらなる標津町の支援のもと、全校生徒が無料でスタディサプリを利用できるようになりました。ご担当の方をお招きし、全校生徒を体育館に集めて説明していただくよう計画していましたが、緊急事態宣言で難しくなってしまいました。

そこで、本校では初となる、各HR教室を使用したオンライン形式での全校説明会を実施することとしました。



教室の様子



早速スマホで実践

慣れない操作に手こずる場面もありましたが、生徒達は楽しそうに画面に向かい、講義動画の視聴や小テストの解答方法などについて熱心に耳を傾けていました。

2021/06/09 看護関係進路説明会 オンライン参加！

| by 教職員06

6月6日(日)、根室振興局保険環境部主催で、看護師を目指す高校生のための養成校合同説明会「キラリ☆未来ナース～デリバリーオープンキャンパス～」が開催されました。

当初は根室市総合文化会館で実施され、WEBでも視聴できる形式になる予定でしたが、緊急事態宣言を受けて完全WEB開催となってしまいました。本校では多目的室を会場に参加いたしました。



釧路の各看護学校の方々からの説明から始まり、病院や訪問看護施設の方々からお話いただき、看護師になるまでのお話から、今まさに新型コロナウイルス感染症と最前線で戦う方々のお話まで聴くことができました。

参加生徒は普段聴くことのできないお話に大いに刺激を受けながら、最後まで熱心にペンを走らせていました。

2021/06/09 種まき作業(フードデザイン)

| by 教職員05

6月9日(水)の5～6時間目のフードデザインの授業で、種まき作業を行いました。また、昨年度から畑作業の経験をしていた自然環境系科目の先生方や生徒にもお手伝いをしてもらいました。

畑を耕すところから始まり、畝を作り、種まきを行いました。天候にも恵まれ、生徒たちは汗水流しながら一生懸命に作業をしていました。育てる野菜は、じゃがいも、大根、にんじん、枝豆の4種類です。今後は、授業の中でレシピを考案し、収穫を行い、調理まで行う予定です。地産地消の大切さなどについて感じてくれたらと思っています。美味しい野菜が育ってくれますように…



標津町の町民農園をお借りさせていただけるということで、今年度からフードデザイン選択者27名で野菜を育てます。標津町の関係者の方々には心より感謝申し上げます。

2021/06/16 野付巡検 事前学習

| by 教職員11

6月15日(火)野付巡検に向けての学習会を行いました。

本日の講師は、毎年お世話になっている野付ネイチャーセンター専門員の石下さんです。



みんな真剣に授業を受けました。

1年生32名を対象に野付半島の特異な地形とその成り立ち、その周りに広がる豊かな自然環境、豊かな水産資源、重要な交易地としての野付半島のお話をじっくりとわかりやすく頂きました。

21日(月)1学年全員で野付巡検を行います。当日、天候に恵まれることを期待しています。晴れますように！

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発の一環として行われています。

2021/06/23 防災教育 川北中学校へ

| by 教職員11

6月22日(火)川北中学校で行われたふるさと学習へ



生徒会・ユネスコ局として春休みに研修に行った報告を中学生の前で行いました。スライドで現在の東北の様子を紹介し、現地で見聞きしたこと感じたことを中学生に伝えることができました。



後半は、役場の和田さんと研修に行った教員とのパネルディスカッションを行いました。真剣な表情でしっかりと話を聞いてくれた川北中学校の生徒の皆さん、これから一緒に防災の取り組みができるといいですね。

2021/06/28 [野付巡検へ](#)

| by [教職員11](#)

6月25日(金)野付巡検を実施しました。当初21日実施予定でしたが、雨で延期。この日は、1年生32名がコロナ対応のためバス2台へ分乗し、野付崎を目指しました。



記念に一枚！

野付の先端は、青空もと、緑のアマモの絨毯、青く透き通った海、鳥の声、遠くに見える町並み、どれもすばらしい景色が広がっていました。まずは、自然観察です。海浜植物の観察、打ち上げられた漂着物、今年は、アザラシの骨やロシア語表記のペットボトルなど見つけることができました。



無事みんなが先端部へ到達したところで、漂着物や生態系に関するレクチャーです。アマモを中心に広がる生態系の話や海洋プラスチックのこと、家庭からのゴミの流出や漁業ゴミ問題、海外からのゴミの漂着についてみんなに考えてもらいました。

帰路みんなでゴミ拾い。ロープの切れ端が多いこと、家庭からのゴミも漂着していること、ゴミのことを考えながら多くのゴミを回収することができました。



センダイハギが咲き誇る遊歩道

お昼を食べてからは、ネイチャーセンター付近での植物観察。この時期、花を咲かせるセンダイハギやハマナスを観察、エゾカンゾウもちらほらと見ることができました（野付の道中には、きれいなエゾカンゾウが咲き誇っていました）。



ハマナスをスケッチしました。

毎年、恒例になっている野付巡検ですが、今年は、SDGs を学習してからの巡検に臨みました。達成目標と野付巡検を結び付けて考えることができた巡検でした。

今年のごみ

漁業由来ゴミ(ロープなど) 70.5kg

燃えるゴミ 11.8kg

ビン 1.0kg

缶 3.2kg

合計 86.5kg

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発の一環で行っています。

2021/07/15 海洋教育 ホエールウォッチング

| by 教職員11

7月9日(金)3年生生物選択生徒を対象に海洋教育を実施しました。今回のテーマは、「生態系の頂点を探そう～ホエールウォッチング実習～」、講師は、毎年お越しいただいている北大北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所の鈴木助教です。



船上特別講義です

船は、標津漁港から出港。曇り空でしたが、風波も穏やかな中、早速鯨類の探索です。早速、船長さんがイルカ！と教えてくれましたが・・・時すでに遅し。がっかり。



必死に探しましたが・・・

船上で鈴木先生から鯨類と生態系のつながり、鯨類がもたらす恵みをわかりやすく教えていただき、改めて鯨類の大切さを実感しました。

その後も標津の沖合で鯨類を待ちましたが、現れませんでした。帰路、標津の町が見える沖合まで来たとき、鳥山がたっていました。おおくのカモメ類やウトウが盛んに海に潜りチカ？を捕食、生命のつながりを感じることができました。



鳥山に遭遇！迫力すごい

今年も船長の家の戸村さんに船を出していただきました。ありがとうございます。
この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発(日本財団)の一環で実施しています。

2021/07/16

6月29日(火)進路講話 7月1日(木)出
前授業

| by 教職員O
6

夏休み前の進路行事として、例年外部からたくさんのお客様をお招きしてキャリアアップ day という行事を行っていました。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、昨年度から実施ができなくなっていました。

今年度は外部からの協力が難しくとも、"実施なし"からの脱却を目指し、「進路講話」と「出前授業」とに分けて実施いたしました。合わせて報告いたします。

6月29日(火)の進路講話では、各学年に合わせた内容で進路指導部教員による講話を行いました。

1学年は学年全体へ向け、4月のオリエンテーションにより情報を加えた講話を行いました。

2学年は、各生徒を大学・短大希望、専門学校希望、就職希望、そして看護師希望の4つに分けて、進路別に講話を行いました。



3学年は、目前に迫った進路活動に備え、進学、就職に分かれて細かい説明を行いました。



どの講話も生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

7月1日(木)は本来"出前授業"でしたが、本校教員を講師として特別授業を行ったものも多く、実際には"自前"授業状態でした。7つの分野に分け、いつもと違った授業で生徒たちに様々なことを考えてもらいました。



本校教員による DTM 講座



本校教員による車両整備体験

林業分野の講座では根室振興局森林室の皆様にお越しいただき、実際の仕事道具を生で見ることができました。



森林室の皆様、ご協力ありがとうございました。

国際協力分野として JICA 北海道の皆様にもオンラインで協力をいただきました。一見手の届かないような国際的な仕事を、どのような流れで選択していったのか知ることができました。



JICA 北海道の皆様、ありがとうございました。

厳しい社会情勢になっていますが、生徒の進路実現に向けて様々な取り組みを行ってまいります。

2021/07/29

総合的な探究の時間 まとめから発表まで

| by 教職員 1

1

7月26日(月)1学年の総合的な探究の時間に発表会を行いました。SDGsについての学びを深め、6月の野付巡検の活動を振り返り、探究活動を行いました。



日本各地の漂着ゴミについて勉強中

野付巡検を終えて、海岸での漂着物の調査より、根室海峡も海洋ゴミの問題は人ごとではないということに気がついた生徒たちに SDGs14、15、12、11 に到達ゴールを定めた探究を行いました。



グループごとに調べを進めていくうちに、いろんな発見があったようで、夢中で資料作りに取り組んでいる様子が見られました。



協力して発表できました

最後のまとめとして野付からの学びと探究活動をパワーポイントにまとめてグループごとの提言を発表しました。みんなどれも素晴らしく工夫を凝らした発表でした。

2021/07/30 夏期休業前全校集会

| by [admin](#)

7月26日(月)夏季休業前全校集会を実施しました。午前中は学校祭の後片付けもありましたが、生徒たちは皆元気な様子でした。

生徒指導部長からは、夏休みの心得についてお話がありました。

夏休み明けからすぐに前期期末考査です。各々の目標がしっかり達成できるよう、夏休みの時間を有効に活用して頑張してほしいと思います。



2021/08/19 夏季休業明け全校集会

| by [admin](#)

8月19日(木)夏季休業が終わり、いよいよ今日から学校が始まります。1時間目に夏季休業明けの全校集会を実施しました。

校長先生からは、今一度、コロナ禍での学校生活の過ごし方についてのお話がありました。進路指導部からは、子どもたちに対する期待が高まる今、未来の自分のために有意義な時間を過ごしてほしいというお話がありました。



また、7月26日から30日にかけて福井県で行われたインターハイに出場した陸上部から大会の結果報告がありました。結果は残念ながら、予選で敗退してしまいましたが、「ずっと目標としていたインターハイに出場できたことは、とても貴重な経験になりました。」と話していました。



夏季休業が終わったばかりではありますが、来週の火曜日から前期期末考査が始まります。今日からしっかりと切り替えて、考査に向けて頑張ってくださいと思います。

2021/09/16 フードデザイン大収穫祭！

| by 教職員05

9月16日(木)にフードデザインの授業で、自分たちで育てた野菜の収穫作業を行いました。

6月9日(水)に、種まきを行い、これまで約3ヶ月間フードデザイン選択者27名で、水やりと草取りの役割分担を決めて大切に育ててきました。

大根は9月1日（水）に一足早く収穫をしていたので、じゃがいも、にんじん、枝豆の3種類の収穫を行いました。生徒たちが役割分担をしながら協力して作業を行っていたため、テキパキと終わらせることができました。





じゃがいも 32kg

枝豆 1kg弱

にんじん 3.5kg 収穫することができました。

緊急事態宣言中により、調理実習ができないことから、採れたての野菜を調理して試食することができないのが本当に残念です。そのため、野菜が長持ちする方法で保存しておいて、実習が出来る日を心待ちにしたいと思います。

標津町の町民農園をお借りさせていただけたこと、改めて関係者の方々には心より感謝申し上げます。

2021/09/27

令和3年度就職指導の改善に関する研究へ
のご協力をお願い

| by 教職員
06

今年度標津高校は、「令和3年度就職指導の改善に関する研究」の研究指定校に選定されました。高等学校の就職指導においては、一人一人の社会的・職業的自立に向け、基盤となる資質・能力の育成が必要です。そうした就職指導の改善のため、社会や職業への円滑な移行に向けた調査研究を行っています。

昨年度指定校の研究報告書は、北海道教育委員会の下記リンクをご参照ください。
<https://www.dokyo-i.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/koukouseinosyusyoku.html>

卒業後の進路として就職を選んだ卒業生の皆さまや、卒業生の就職先の各事業所からご意見を頂戴し、研究に活用させて頂きたいと思っております。ご連絡差し上げた際には、どうかご協力よろしくお願いいたします。

標津高校進路指導部長・就職支援教員 古城一樹

2021/09/30

前期終業式

| by 教職員16

9月30日(木)に前期終業式を実施しました。当初は、強歩遠足を行った後に行われる予定でしたが、緊急事態宣言の延長に伴い強歩遠足が延期となってしまったため、5時間目まで通常授業を行い、6時間目に前期終業式を行いました。



また、10月から産休に入られる養護教諭の西村先生からご挨拶がありました。お身体に気をつけて、また一緒に学校生活を過ごせるのを楽しみにしています。



元気な赤ちゃんが産まれますように。。。

2021/10/07 海洋教育 カラフトマス学習

| by 教職員11

10月6日(水)気持ちのよい秋晴れの中、サーモン科学館にてカラフトマス学習を行いました。といいましたが、本来は9月に行う予定の学習がコロナによる緊急事態宣言の影響を受け10月に延期となっていました。ということで、残念ながらカラフトマスの親魚が用意できず、今年はサケを使って人工授精と解剖の実習を行いました。



採卵刀で開腹して卵を取り出します。



精子をかけます

自然環境系科目選択 2 年生 5 名がサケを使って人工授精に挑戦！上手に卵を取り出すことができました。卵重を計り、精子をかけ、新鮮な水につければ受精が完了。



手際よく解剖、体内構造の学習です。

毎年、命を繋ぐ実習として行っています。この後は発眼卵の受け取りとサケ稚魚の飼育に挑戦です。

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発(日本財団)の一環で実施しています。

2021/10/07

地域循環型防災教育 標津小学校 3 年
生

| by 教職員 1
1

10 月 7 日(木)地域循環型防災教育を目指す本校に標津小学校の 4 年生の皆さんがやってきました。目的は、避難所の見学。

まずは、発電機を見学です。実際にエンジンをかけてみました。高校の体育館には発電設備があるんです。



発電機のエンジンをかけます!

次は、体育館とその周辺の探索です。シャワーマークを探します。早速声が上がりました。高校には、シャワー設備もあるから避難所になったときも衛生的に過ごせます。



命を守ってくださいね!

体育館に戻って本日のまとめ。学習テーマは、「そなえ」でした。災害に備えることも大切なこと。まちをあげてさまざまな備えがあることを学習してくれたのではないのでしょうか。4年生に最後に伝えたメッセージは、命を守ること。自分の命は自分で守るという気持ちを忘れないでくださいね。

皆さん、将来標津高校でお待ちしてます。地域循環型防災教育の完成に向けて!

2021/10/07 後期始業式・生徒会役員認証式

| by 教職員16

10月5日(火)4日間の学期間休業を挟み、いよいよ後期が始まります。この日の1時間目に後期始業式を行いました。そこで、10月から産休に入られる西村先生に代わり、養護教諭として勤務される森先生からご挨拶がありました。



また、後期始業式終了後に第 70 期生徒会役員の認証式が行われました。
新生徒会役員がステージ上に登壇し、校長先生から認証状を受け取りました。



その後、新生徒会長からの挨拶がありました。
10 月 3 日、4 日に行われた生徒会リーダー研修の報告と、第 70 期生徒会としての目標が話されました。



今後の生徒会の活躍も楽しみですね！！

2021/10/13 第 1 回避難訓練 実施

| by 教職員 11

10 月 12 日(火)秋晴れの中、第 1 回目の避難訓練が実施されました。コロナ禍ということもあり、春に実施できず本日まで延期となっていました。



生徒玄関から避難です。

今回の想定は、火災です。落ち着いて素早く避難することを心がけ、全校生徒が学校前駐車場へ避難しました。



支えていただきました

後半は、避難ばしごの体験を行いました。普段見ることのない設備に興味津々。ぐらぐらする梯子を上手に降りることができました。

最近、災害が多くなってきています。常に防災に高い意識を持ち、いつ災害が来ても大丈夫なように備えをしておきましょう。

2021/10/13

1日防災学校 防災研修報告会・パネルディスカッション

| by 教職員

11

10月12日(火)6時間目は、1日防災学校を実施しました。実施内容は、3月と8月に実施した防災研修の報告とそれぞれが感じ取ったことなどを話し合うパネルディスカッションです。



発表してくれた生徒会メンバー

生徒会・ユネスコ局の生徒から被災地とそこで学んだことをスライドで説明してくれました。現地に行ったからこそ感じとれたこと、被災した当事者の複雑な気持ち、様々な感情が伝わる研修報告会でした。



研修に行った4人がパネラーです。

その後は、引率した先生と役場危機管理室長の和田さんを迎えてパネルディスカッション。防災減災活動をどうして続けたいいけないのか？災害を学ぶことにどんな意味があるのかしっかりと伝えることができました。災害を「語り継ぐ」(釜石の言葉)を北海道の地で実践することができました。

これからも防災減災活動行っていきます。みんなの命、大切な人の命を守るために。

10月13日(水)、野付半島にてゴミゼロ運動が行われました。例年は標津町の海の公園で実施していますが、今年は新型コロナウイルスの影響で通常通り実施できず、強歩遠足と併せて実施しました。



区間を分けて、全校生徒を挙げてのゴミ拾いとなりました。
ゴミゼロ運動は生徒会・ユネスコ局が中心となって行っています。



野付半島は非常に自然豊かで綺麗ではありますが、半島を歩いていると缶やペットボトル、漂着物などのゴミが多数確認されました。食べ残し、飲み残しのあるゴミも確認されました。多くの鳥獣が暮らす野付半島で動物が人間の食べ物の味を覚えてしまえば、疥癬・ロードキルなどの問題にもつながってしまいます。



集まったゴミは、合計35.1kgとなりました。予想外に多くのゴミが集まりびっくりしました。

標津町は自然に支えられている町であるからこそ、みんなでゴミを拾う、自然をきれいにする気持ちを大切にしたいと思います。

2021/10/15 強歩遠足・知床ゴミゼロ運動

| by 教職員16

10月13日(水)強歩遠足を行いました。当初は、9月30日に行く予定でしたが、緊急事態宣言の延長に伴い延期されこの日程での実施となりました。

この日は朝から天候に恵まれ、暑すぎず寒すぎずのちょうど良い気温で、絶好の遠足日和です。朝のSHR終了後、全校生徒が本校の駐車場に移動し、出発式を行いました。校長先生からのお話があり、その後、体育委員による準備体操を行いました。



出発地点となる野付半島ネイチャーセンターまではバスで移動します。トイレ利用やスタート時の混雑緩和のため、男女で時間をずらしてのバス移動となります。
先に到着した女子たちが、学年ごとに並び、校長先生を先頭に出発です。



少し時間を空けて到着した男子たちも、同様に並び、3年生を先頭に出発です。



生徒たちは、出発地点から学校までの 20km もの距離を歩いて行きます。その道中、およそ 5km おきに計4カ所設置してあるチェックポイントでスタンプをもらいながらゴールを目指します。



第2チェックポイントの駐車場でお昼休憩です。皆、午後に向けて空腹を満たしています。



最終(第4)チェックポイント！学校まであと少しです！



全員が学校に到着した後、体育館で閉会式が行われました。全員が完歩したクラスの代表者が壇上にあがり、校長先生から表彰を受けました。



生徒は皆、疲れ切った様子でしたが、どこか達成感に満ちた表情をしていました。1日間の休業日を挟み再び普通の学校生活に戻りますが、それぞれの夢に向けて歩み続けてほしいと思います。

今回の実施に関して、施設の提供をしてくださった方々、並びに、運営に携わってくださったPTAの方々、ご協力していただきありがとうございました。

2021/10/19 **体験入学**

| by [admin](#)

10月15日(金)本校にて体験入学が行われました。49名の中学生に参加していただき、多くの中学校の先生方・保護者の皆様にご来校いただきました。



まず、体育館で本校生徒会役員による学校紹介、教務部による教育課程の説明、進路指導部による進路についての説明、標津高校教育振興会による支援事業の紹介などが行われました。

その後、3つの体験授業に参加していただきました。

①【自然環境系科目】「持ち運べる水『Ooho』作ろう！」



ブラックライトで発光する『Ooho』を作りました。

②【商業系科目】「知ってると便利！？電卓の使い方」



普段何気なく使う電卓ですが、様々な機能があることを学びました。

③【文理系科目(国語)】「高校レベルの伝え合う力 実践」



楽しみながらも真剣に取り組む様子が見られました。

今回の体験入学を参考に、ぜひ標津高校を進路の選択肢の1つとして考えていただけたらと思います。

ご来校いただいた皆様、体験入学にご参加いただきありがとうございました。

2021/10/21 海洋教育 サーモン科学館へ

| by 教職員11

10月20日(水)1年生の総合的な探究の時間でサーモン科学館にて海洋教育の一環として水産学習を実施しました。



大水槽の前での授業！ 魚たちと勉強です

本日の講師は、館長である市村さん。サーモン科学館の大水槽の前でサケ科魚類の話や資源管理について、さらに根室海峡の地質的特徴からイワナ属の分布の違いについて詳しく解説していただきました。また、標津の海と羅臼の海、お隣ですが様子が違うこと、とれる魚種も違うことを教えて頂きました。説明している館長の後ろをエビスザメやシロザケが泳ぎ、とってもいい雰囲気でお話を聞くことができました。



名物 チョウザメ指パク体験

その後は、館内見学。久々にサーモン科学館にやってきた高校生、早速ドクターフィッシュと戯れたり、魚道水槽に遡上してきたサケたちを眺めたり、チョウザメ指パクを楽しみました。小さな頃に来たサーモン科学館も自分たちが成長して再び見学すると新たな気づきもあるようです。また、遊びに行ってくださいね。

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発部門(日本財団)の一環として行っています。

2021/10/22 鮭の解体実習(フードデザイン)

| by 教職員05

10月18日(月)の3～4時間目に3年生のフードデザインの授業で鮭の解体実習を行いました。講師として標津町漁業協同組合の女性部の方5名が来校してくださりました。



講師の方の鮭の捌き方の実践例を見て学んだ上で、3班に分かれて実際に鮭を捌

きました。生徒たちはとても手際良く綺麗に捌いていました。



生筋子からいくらの醤油漬けも作りました。



捌いた後は、役割分担をしながら鮭ザンギ、鮭のクリームシチュー、鮭のあら汁を作りました。鮭のクリームシチューでは、標津牛乳を使用しました。標津産の鮭と牛乳を使ったクリームシチューは新鮮で、とても格別な味になりました。



生徒達は、包丁の使い方や魚の扱い方など今回学んだことを、一人暮らしをした際に生かしていきたいと述べていました。

ご協力いただいた標津町漁業協同組合女性部の皆様におかれましては、心より感謝申し上げます。

2021/11/11 職業研究発表会

| by 教職員23

11月5日(金)2学年の総合的な探求の時間で職業研究発表会を行いました。

本来は、9月末に実施予定だったインターンシップの報告会となる予定でした。しかし、緊急事態宣言の延長により、インターンシップが中止となったため、一人ひとりが興味のある職業について調べて発表する「職業研究発表会」としました。



発表会は体育館で実施しました。

発表会当日まで、一人一台端末を活用しながらプレゼンテーションを作成し、リハーサルも行った上で手直しをするなど、準備を重ねてきました。



3分を目安にステージ上で一人ずつ発表しました。

内容が分かりやすいように工夫されたスライドも多く、よくまとめられていました。また、一人ひとりが発表をするのは大変だったと思いますが、準備から積極的に取り組むことができました。

今回は互いの発表を聞くことで、様々な職業について学ぶことができる良い機会となりました。

インターンシップの中止に際しまして、実習先の企業や団体の皆様にはご迷惑をおかけしました。次年度以降、実施の際にはご協力をお願いいたします。

2021/11/16 海洋教育 サケの産卵行動学習

| by 教職員11

11月16日(火)キリリと冷え込んだ朝、3年生選択生物の授業を標津町サーモン科学館で行いました。今回の実習は、サケの産卵行動の観察です。魚道水槽にセッティングされたサケの産卵行動展示を見学しました。

生物の教科書では、イトヨの固定的動作パターン(本能行動)の例が定番であります。ここ標津町では、生きた教材でこの学習が展開できます。サケの町ならではの学習ではないでしょうか。



講師の西尾副館長、わかりやすい解説でした

本日の講師は、西尾副館長。前もってペアリングをしてくれたおかげで、無事いい状態の二人(二匹)となっていました(実は、隣の水槽のペアは、我々の到着寸前で産卵してしまったことは内緒です)。

副館長の講話を聞きながら、産卵の瞬間を待ち続けること30分。いよいよ産卵の時がやってきました。メスとオスが目視確認、そして、タイミングを合わせて産卵と放精しました。無事、生徒の目の前で命の繋がりを見せてくれました(ありがとう)。



直前、二匹が見つめ合い



タイミングばっちりです、この二匹。

ということで今年も無事に産卵行動を観察できました。標津町で繰り広げられる教科書以上の学びの瞬間でした。

毎年、ご協力いただいている標津町サーモン科学館の皆様に感謝申し上げます。

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発(日本財団)の一環として行いました。

2021/11/29

地域循環型防災教育 標津中学校出前
授業

| by 教職員1

1

11月26日(金)標津中学校にて地域循環型防災教育を実践しました。今回は、標津中学校の参観日に合わせて実施しました。



緊張しながらも頑張りました！

8月の被災地研修報告を標津中学校の全生徒へ向けに行いました。中学生に現地の様子を高校生が伝えることでよりリアルに伝わったと思います。



みんな正座！お互い礼儀正しいですね

引き続き、2年生を対象に標津町オリジナルHUGを行いました。高校生が読み手となり高校を避難所とした避難所運営をゲームで体験してもらいました。標津町で実際に起こりうる災害を想定したことで中学生にもよりリアルに避難所運営を体験できたのではないのでしょうか。



早速ゲーム開始！高校生がファシリテートします



お礼の言葉をいただきました。

高校生が防災リーダーとして町の防災減災活動を率先して行い、現在推進している地域循環型防災教育の構築を目指してこれからも活動をしていきます。

2021/12/06 すごしやすい学校づくり子ども会議

| by 教職員11

12月4日(土)標津町生涯学習センターあすぱるで行われた「すごしやすい学校づくり子ども会議」に参加しました。



町内の小学校～高校まで児童生徒が一同に会して行われたこの会議、高校生は、グループのファシリテート役を務めました。小学生や中学生がそれぞれの学校でどんな取り組みをしているのか、またどんなことをしていけばみんながすごしやすい学校になるのか、積極的な意見が交わされていました。





標津高校でも金曜日の朝のあいさつ運動や目安箱の設置など生徒がすごしやすく安心して学校生活が送れるように頑張っていこうと思います。

2021/12/17 シュガーセミナー(フードデザイン)

| by 教職員05

12月15日(水)の3・4時間目にフードデザインの授業で、シュガーセミナーを行いました。講師として、三笠市地域おこし協力隊の方が来校してくださりました。

シュガーセミナーでは、砂糖に関する正しい知識や機能性について、講義していただきました。生徒達は、普段何気なく使用している砂糖の重要性について、理解していた様子でした。



また、天然の砂糖と人工甘味料について、説明を受け、食べ比べをしたことで、実際に違いを体感することができました。



シフォンケーキ作りも行いました。卵の割り方やメレンゲの作り方など、基本的な調理技術を学ぶことができました。





焼きたてのシフォンケーキはふわふわでとても美味しかったです。

三笠市地域おこし協力隊の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

2021/12/17 海洋教育 ホタテ解剖実習

| by 教職員11

12月16日(木)選択生物(3年生2名)でホタテの解剖実習を行いました。標津町では、ホタテの漁が始まり、新鮮で大きなホタテが水揚げされています。今年も標津漁協のご協力で大きくて新鮮なホタテを用意して頂きました。

今回の目標は、軟体動物の体のつくりを理解することと今まで学習してきた脊椎動物と比較して、学習を深めることにあります。



ホタテ剥きの使い方を学びます。

さて、まずは、殻を外します。生きが良いのでへらをはさまれ四苦八苦。なんとか片側の貝柱を外すことができました。体の構造では、外套膜～エラ～腎臓～心臓～消

化器官と観察をしました。心臓の拍動がしっかり観察できるほど鮮度の良いホタテでした。



ホタテの眼と触手、鮮度抜群！



真剣にスケッチに取り組みました

最後に観察したのは、晶桿体です。消化管から引き抜きましたが、一体何のためにあるのか？いろいろ想像を膨らませました。

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発部門の一環で行われています。

2021/12/17 ホタテ実習(フードデザイン)

| by 教職員05

12月16日(木)の3・4時間目にフードデザインの授業で、標津町の特産品であるホタテを使用して、ホタテ実習を行いました。講師として、標津町漁業組合女性部の方が来校してくださりました。



ホタテの構造や剥き方に関する講義を受けた後に、生徒達が1人4枚ずつのホタテを剥きました。ホタテは当日の朝に水揚げされたもので、とても新鮮なホタテたちでした。剥く際に、貝に挟まれそうになっていたり、剥いた後もホタテの心臓が動いていたことなど、まだ生きているホタテに生徒達も驚いていました。





剥き終わった後は、丁寧に処理をしてから調理しました。



献立は、ホタテのサラダ、ホタテフライ、ホタテカレーです。



ホタテがとても新鮮で美味しかったです。

また、鮭のすり身を女性部の方々から提供していただき、鮭のすり身汁も美味しくいただきました。

標津町漁業組合女性部の皆様におかれましては、お忙しい中ご協力いただき、心

より感謝申し上げます。

この授業は、海洋教育パイオニアスクール単元開発部門の一環で行われています。

2021/12/20 冬季休業前全校集会

| by 教職員16

12月20日(月)の5時間目に大掃除を行った後、6時間目に冬季休業前全校集会を実施しました。

校長先生からは、この冬季休業を利用して自分の興味のあるものについて深掘りしてほしいというお話がありました。

また、生徒指導部長からは、冬季休業中も感染症や事故に気をつけて健康に過ごしてほしいというお話がありました。



明日から冬季休業が始まりますが、この期間がみなさんにとって有意義なものになること、そして、休業明けに元気な姿を見せてくれることを願っています。

2021/12/23 1日防災合宿

| by 教職員11

12月22日(水)生徒会(ユネスコ局)で1日防災合宿を行いました。目的は、避難所としての設備の確認です。以前も一度行った企画ですが、やっと時間がとれたところで、校内の物品の確認、避難所設営に役立つ物をチェックして廻りました。



この部屋は・・・何があるのかな

いつもは、頭の中でイメージしながら HUG に取り組んでいましたが、どこに何があるとかコンセントの位置はどこか、ガスが出るところ、個室として使える部屋など改めて確認すると気づくことも多くありました。



オリジナル HUG にトッピングするぞ！

午後からは、標津町オリジナル HUG のブラッシュアップ。現在は、融雪洪水を想定していますが、災害が多様化している今に合わせ、新たな災害にも使えるようにしていきたいと考えています。先日、千島海溝での地震と津波の想定が発表されたこともあり、まずは、冬期・流氷が接岸した日の津波による避難所という想定と台風時期の土砂崩れを想定して、新たなカードを考えました。災害によって、その設定を細かく考えなければならず、チームで協力して話し合いを進めました。

来年も防災活動、頑張っていきます。

2021/12/27 カエルキャラバンお手伝い

| by 教職員11

12月26日(日)標津みらい塾の皆さんと一緒にきらり子供塾のサポートを行いました。この日は、「カエルキャラバン」という防災教育を行うということで、本校は、防災カルタの絵札作りをお手伝いしました。



まずは、災害で挟まれた人を救助する訓練です。今回は、標津町の”うしくん”と”くまくん”を使って救出訓練。子供たちがジャッキを使い挟まれた”うしくん”を助けます。子供たちにけががないように高校生はそっとサポート。そして、救助した”うしくん”を毛布タンカで運ぶ訓練。”うしくん”が結構重たいので、ここでもそっとサポート。





いよいよ高校生が作ったカルタ大会。チームに分かれて、盛り上がりました。最後の一枚をみんなで取り合って…結果は、引き分け。なんとも平和に終わりました。



最後は防災食器作り。新聞紙で紙食器を作りました。いざというときも役立つ工作ですね。折り方がわからない子供たちのお手伝いをして、みんな完成させることができました。

ということで、防災教室のサポートが終わりました。標津高校で取り組んでいる出前授業のヒントもたくさん学ぶこともできたカエルキャラバンでした。

2022/01/13 冬季休業明け全校集会

| by 教職員16

1月13日(木)の1時間目に冬季休業明け全校集会を行いました。

校長先生からは、「自分の興味のあるものについての探求をすること」と、「感染症について理解し正しく恐れること」の2点を今後も継続してほしいという話がありました。

また、教務部長からは、集中して授業を受け勉強に取り組むために『心』を、遅刻・欠席など無くきちんと学校生活を送るために『身体』を、それぞれ『整える』ことが必要だという話がありました。



次に、11月まで勤務してくださった森先生に代わり、1月から養護教諭として勤務される浅里先生からご挨拶がありました。



最後に、全道・全国大会に出場した部活動や検定で快挙を遂げた生徒の賞状伝達式を行いました。表彰された生徒は以下の通りです。

・自然科学部

北海道高文連第60回全道大会理科研究発表大会『優秀ポスター賞』

第7回全国ユース環境活動発表大会北海道大会『高校生が選ぶ特別賞』

・生徒会総務部

第16回ぼうさい甲子園『フロンティア賞』

・危険物取扱免状乙種全類取得者



冬季休業が明けてもなお、心身ともにスイッチがオフになってしまっている生徒が多いようです。しっかりと切り替えて実りある学校生活を送ってほしいと思います。特に、3年生は来週に学年末考査が控えているので、持っている力を出し切って高校生活最後のテストで有終の美を飾ってほしいと思います。

2022/03/09 危険物乙種全類取得！

| by 教職員08

本校2年生の太田裕晴君が、危険物取扱者試験で、乙種全類取得を達成し、消防試験研究センター北海道支部より表彰を受けました。高校生の乙種全類取得は、専門的に学んでいる工業高校では多くいますが、普通科の高校では珍しく、標津高校では2人目、2年生での全類取得は快挙となります。

太田君は1年生の8月に乙種4類を取得しました。その後、「卒業前には全類を目指す」という目標を立て、その後も勉強を重ね、1年生のうちに乙種2類を取得しました。2年生になり、3・5・6類を取得、そして10月には乙種1類を取得、全類取得を達成しました。

太田君は、「乙種4類取得の後、他の5つのうち、1度で合格できなかった類がありましたが、何度も問題を解き、似たような物質の特徴をノートにまとめるなどして勉強を続けた結果が出てよかった。また、町からの受験料半額補助もあり、チャレンジをしやすい環境だった」と話してくれました。

また、太田君以外にも今年度丙種1名、乙種2類が1名、乙種4類が1名、乙種6類が1名出ました。標津高校では乙種全類取得している先生が3名、甲種を取得している先生が1名いるので、指導体制はバッチリです。太田君に続いて積極的にチャレンジしてほしいと思います。



2022/03/10 防災各賞の受賞と町長表敬訪問

| by 教職員11

実は、標津高校、表彰されていました。
本校で取り組みを続けている防災減災教育に関する各種表彰について報告します。

今年度は、1月に「ぼうさい甲子園」(http://npo-sakura.net/bousai-koushien/?page_id=861)にて「フロンティア賞」を受賞しました。兵庫県公館で行われる授賞式に参加すべく準備を進めていたところではあるのですが、新型コロナウイルス感染拡大にともないオンライン開催となり、授賞式に行くことができませんでした(残念...)。しかし、本校の活動が確実に評価されてきたと実感！



そして、3月。なんと総務省が実施している「防災まちづくり大賞」にて、消防庁長官賞を受賞いたしました。こちらも授賞式が行われませんでした(残念)。消防庁長官賞というとても大きな賞を頂き、本校と町で取り組む防災減災の活動の大きな自信となりました。



ということで、本日3月10日(木)に町役場にて、山口町長を表敬訪問して、今年度の防災減災活動と受賞の報告を行いました。

たくさんの報道陣に囲まれて緊張しましたが、生徒会長の渡部さんから報告をすることができました。



緊張の囲み取材

山口町長様より、活動に対してねぎらいと感謝の言葉を頂きました。こちらこそ活動させていただき、感謝です。



私たちの活動を支えてくださりありがとうございます



山口町長さんと記念に！いい顔してます。

令和4年度も標津町と標津高校の防災減災活動は続きます。町を守るため、率先避難者を増やすため、災害に強い町を作るため！

2022/03/17 オリジナル HUG

| by 教職員17

3月16日(水)、1年生の総合的な探究の時間で、HUG(避難所運営ゲーム)を実施しました。1年生では入学してからの1年間、野付半島の自然やポー川史跡の歴史などを通して、地域のことをSDGsの観点を取り入れながら学んできました。今回は

それらの総まとめとして、地域の特性を考慮しながら、いかに避難所を運営するかということを考え、地域の防災について学ぶことが目標です。



まず始めに、地域防災マスターでもある本校の鈴木祐二先生から、地域防災についての基礎的事項を学びました。



その後、本校で作成した「標津町オリジナル HUG」を5班に分かれて行いました。オリジナル HUG は生徒会が作成したもので、生徒会の生徒は体験していましたが、1年生の生徒は初めてです。生徒会の生徒が各班のリーダーとなって、それぞれの避難所を運営します。



老若男女さまざまな人々が避難してきて、色々な出来事が発生します。それにどう対応していくか、正解のない答えを考えながら、一つひとつ対応していきます。各班とも班員同士話し合いながら真剣に対応を考えていました。

この時間で学んだことを活かし、町を守るため、災害に強い町を作るため、率先して行動できる人間になってほしいと思います。

3月22日(火)、2学年の化学基礎の授業で、中和の実験を行いました。

まん延防止等重点措置のため、実験は自粛しておりましたが、本日から解除となったため、最後の授業で実施することができました。

この実験は、塩酸と水酸化ナトリウムの中和反応を、pH 指示薬の色の变化で確認することを目的に行いました。2人一組で実験に取り組みました。



1滴ずつ塩酸や水酸化ナトリウムを滴下していきます。



pH 指示薬を滴下し、色の变化を確認します。



真剣にレポート作成に取り組んでいます。

久しぶりの実験の授業でしたが、生徒からは「やっぱり実験は楽しい！」という声が多く聞かれました。

次年度も、可能な限りいろいろな実験を行っていきます。

2022/03/24 終業式および離任式

| by 教職員23

3月24日(木)、終業式と離任式を行いました。

1学年と2学年の生徒が、1年間について反省し、新学年への心構えを新たにしました。



終業式では、校長先生からは「様々な課題に立ち向かうためには勉強が必要で、日々を大切に過ごしてほしい」とお話がありました。



終業式に引き続き賞状伝達式が行われ、5名の生徒が表彰されました。



表彰の内容は以下の通りです。

自然科学部 全国ユース環境発表大会全国大会 優秀賞
生徒会 防災まちづくり大賞 消防庁長官賞
ぼうさい甲子園 フロンティア賞
2年 A 組 澤田光希くん 読書感想文コンクール 最優秀賞
1年 A 組 鈴木新菜さん 読書感想文コンクール 最優秀賞

離任式では、転出される9名の先生方が紹介され、それぞれの先生方から挨拶がありました。



式の最後には、これまでお世話になった先生方に、花束を贈呈しました。



新たな学校でのご活躍をお祈り申し上げます。

新年度の始業式は4月8日(金)です。新学年となった生徒のみなさんの元気な顔を見られることを楽しみにしています。

2022/03/25

令和3年度就職指導の改善に関する研究
報告書について

| by 教職員
06

今年度標津高校は、「令和3年度就職指導の改善に関する研究」の研究指定校に選定されました。高等学校の就職指導においては、一人一人の社会的・職業的自立に向け、基盤となる資質・能力の育成が必要です。そうした就職指導の改善のため、社会や職業への円滑な移行に向けた調査研究を行っています。

研究の報告書等については、下記リンクをご参照下さい。
昨年度の研究報告書

<https://www.dokyoii.pref.hokkaido.lg.jp/hk/kki/koukouseinosyuusyoku.html>

今年度の実施要領

https://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/4/6/2/5/5/0/_/youkou_jst.pdf

今年度 本校の研究報告書

[【標津高校】研究報告書 HP 用.pdf](#)

卒業後の進路として就職を選んだ卒業生の皆さまや、卒業生の就職先の各事業所からご意見を頂戴し、今後の参考となる情報を整理することができました。ただ、新型コロナウイルス感染予防の観点から積極的な企業訪問を実施することができませんでした。今後もこのような状況が続くことが考えられるため、新しい方法を模索しつつ、生徒の進路実現のために努力してまいります。

最後になりますが本研究にご協力いただいた各事業所の皆さま、卒業生の皆さま、誠にありがとうございました。

標津高校進路指導部長・就職支援教員 古城一樹